

# 横浜市立谷本中学校 平成25年度 学力向上アクションプラン

## 1 学校の状況と地域の実態

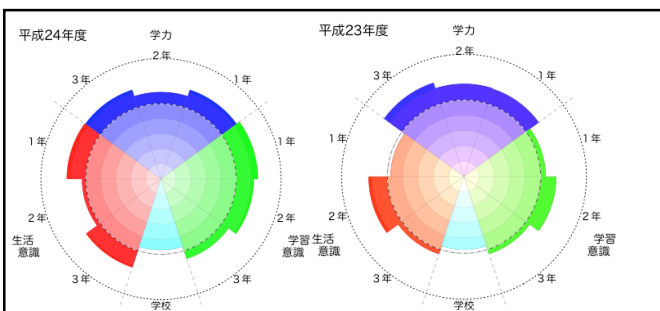
- (1) 学習意欲は高く、1日の勉強時間が1時間以上の生徒は80%弱である。さらに、塾に通う生徒も多く、学力・成績を上げることへの関心も高い。
- (2) 学区の小学校から私学への進学が、毎年40%である。本校に入学する生徒の中には受験失敗の悩みをかかえたり基礎学力が身に付いていないなど、複雑な状況で中学校生活を始める生徒も目立つ。
- (3) 経験の浅い職員が増えてきていることもあり、研究授業などを通して指導力の向上を図り、全校で組織に取り組む必要がある。
- (4) 基礎学力の充実を目的に学習相談を夏季休暇に設けているが、学習を必要とする生徒の参加を充実させることが課題である。
- (5) 人なつっこく、授業中も活発な発言もあるが、人とのコミュニケーションは苦手な面も見られる。周りの意見に流されたり、人のために活動する意識が弱い生徒も多い。

## 2 今後3年間の方向（中期学校経営方針）

### 学力向上に関する指導の目標・方針（平成27年度末の姿）

- ・「確かな学力」の定着を図るため、授業時間の確保や学習相談を行い個々に寄り添った支援をします。また、学習習慣の定着のため家庭との連携を図っています。
- ・数学1年TT、2，3年少人数指導、英語2，3年少人数指導を実施し、基礎・基本の確実な定着を図り確かな学力を身に付けられるようにしています。

## 3 横浜市学力学習状況調査等からの平成25年度の実態把握



### (1) 学力の概要と要因の分析

学力、学習意識面では市の平均を上回っている。毎年のことだが、学力面では3年次には市平均を大きく上回り、進路を見据えた個々の学習が充実している。

生活意識については学年の特徴や状況によって差がある。また、どの学年も自己意識の値が低く、日常生活での自己肯定感の弱さがわかる。

学校質問紙の分析では、学習の具体的な手だて

など共通理解をもった取組や研修など値が低い。全教職員で取り組む必要がある。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科：ほぼ、市平均を上回っているが、正確に聞き取る力・内容の総理解力や文法知識が課題。
- 社会科：ほぼ、市平均を上回っているが、資料活用、日常の社会事象への関心などの面が課題。
- 数学科：全てにおいて市平均を上回っていた。図形や実生活の中の数学的な事柄を見いだすことが課題。
- 理科：ほぼ、市平均を上回っているが、科学的考察力や実験の考察そして思考につなげることが課題。
- 外国語科：ほぼ、市平均を上回り関心も高い。リスニングの向上、書き取りの力の充実が課題。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学習意識はどの学年も高い。家庭学習は定着している生徒、やらない生徒と二極化している。また、校外での活動は芸術面を含めて携わっている生徒が多く、生活面は安定している。生活意識の分析では「手伝いをする」（市平均の若干上）「運動をする」（市平均の下）の数値が低く、そのためか学習面においては日常の実生活に即した問題など正答率が低く、知識を生活面に生かす学習が必要である。

## 4 平成25年度 目標と具体的方策

### 平成25年度 目標

言語活動の充実を中心において、知識や技能に加え、学習意欲や主体的な課題解決力など「確かな学力」の定着を目指す授業の工夫をする。

### (1) 学校組織としての共通の取組

- **言語活動を充実させる**  
本校の合い言葉“素敵にコミュニケーション・・・”を各教科で課題とし、授業内でのグループ学習など言語活動を重視した授業を心掛け、正確に「聞く」「話す」力を身に付け、さらに自分の考えをしっかりと表現できる生徒を育成する。
- **学習保障と学習支援をする**  
夏休みの前半3日間、後半3日間の学習相談を実施し、普段の生活ではできない1対1の学習指導や、基礎基本を復習・予習・宿題など生徒の課題や意欲に沿って学習を支援する。また、教育相談を実施し相談内容・生徒理解の充実を図る。
- **読書活動の充実させる**  
読書が日常の活動となって読書への関心を高めることにより精神面を充実させる。また、その内容・感想をまとめ、伝えることでより深い「言語能力」の向上を図る。

### (2) 学年・教科等としての取組

### ○ 分かる授業・楽しい授業の確立

#### 国語

- スピーチの相互評価プリントを工夫し、相手の話を注意深く聞き、話題を総合的にとらえる力を育てる。
- 授業の中で「話す・聞く」にメリハリをもたせ、個々の生徒の発言も取り上げて言語活動を充実させる。

#### 社会

- 基礎・基本の力を充実させるために、教材や授業の工夫・改善を図る。
- 教科内での情報交換を行い、効果的な学習方法を授業で紹介する。

#### 数学

- クイズ・ゲームなどを活用し、興味関心を持てる楽しい授業を工夫する。
- 他の先生の授業案を参考にし、授業の振り返りを行い個々の授業力を向上させる。

#### 理科

- 「間違えてもいいから自分で答えよう」のよびかけと、何がわからなくて間違えたのかを説明する場面を設定する。
- 効果的な学習方法を授業でわかりやすく紹介する。

#### 音楽

- 個別指導を充実させ、苦手意識を持つ生徒に対しての支援をていねいに行う。
- 鑑賞の授業を充実させ、音楽のよさ・感動を文章表現し自己の音楽表現活動に生かすことを目指す。

#### 美術

- 作業工程の明確化、生徒の動線を意識した教室環境づくりを行い、分からない生徒を一人でも減らす。
- 参考資料・作品の展示・展覧会の案内などを積極的にに行い美術に触れる機会を増やす。

#### 技術・家庭

- 生徒間・班での相互評価を取り入れ、生徒同士の振り返り学習にも重点を置き、学習内容をより深める学習形態を取り入れる。
- 日常生活に関連つけた内容で発言を引き出す。

#### 外国語

- 表現活動を多く取り入れ、生徒が自ら英語で、自分の考えや状況を説明できるように支援する。
- 自由に授業見学したり、チームティーチングの授業を通してアドバイスしたりして互いに学び合う。

#### 特別活動

- 望ましい集団活動を通して、心身共に健全な調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- 実践的活動の中で、自主自立の態度を育て、生き方についての自覚、自己を生かす力を養う。

#### 総合的な学習の時間

- 読書を通して思いや考えを深め、発表する力・互いの個性や感性に気づきよりよく生きる心を育てる。
- 行事を通して主体的に学び、考え、探求することで、人・自然・文化への思いやり・生きる力を育てる。

#### 個別支援学級

- 社会生活に必要な態度と能力の育成を図り、自立の基礎を培う。
- 個別指導計画に基づき、授業や学習集団を工夫し、指導の充実を図る。